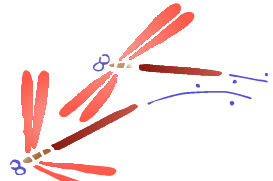




本日始業式 実り多い2学期に！



夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。

2学期は一年の中で最も長い学期ですので、努力の積み重ね次第で、伸びる人とそうでない人との差が広がっていくように思います。分からないことをそのままにせず、先生や友達に尋ねながら、着実に力を付けてほしいと思います。まさに授業に“全集中”で臨んでください。

夏休み中に校区の様々な場所に出向いて地域の皆さんからいろいろなお話を聞く機会がありましたが、稜南中の生徒の地域での挨拶がよくなっているという話を数カ所で聞きました。また、ある幼稚園の先生からは、幼稚園の前を通るたびに笑顔で園児や先生方に挨拶をしているとのことでした。さらに、小学校の先生方からも挨拶が良くなったとのこと。私はこのことが何よりもうれしく思います。

稜南生としての誇りを「挨拶」という手段で「稜南の風」を地域に届けてくれて、本当にありがとうございました。

さて、今日の始業式では、各学年代表を代表して、1年2組の立川美心さん、2年2組の小林小登音さん、3年2組の飽田祐花さんが2学期への決意を力強く述べてくれました。感染防止のためにリモートでの実施となりましたが、3人の思いは、全クラスにしっかりと届いていました。



立川さん



小林さん



飽田さん

※2学期の学習面、運動・文化面での皆さんの活躍を大いに期待しております。感染対策を十分に図りながらも、素晴らしい思い出をつくってほしいと思います。

ワークキャンプで福祉体験

8月4日(木)に、天草市社会福祉協会で行われたワークキャンプに、本校を代表して4人の生徒が参加しました。当日は、車椅子体験やアイマスク体験等を通じて、福祉のあり方や体の不自由な方への接し方などを学びました。ぜひ、この体験で学んだことを他の生徒達にも伝えてほしいと思います。4人の感想等を紹介します。

(1) 車椅子体験での気づき

押すときに「降りますね。」「段差があるのでゆっくり動かしますね。」などと優しく声をかけることで、乗っている人が安心することが分かった。(山崎馨南太さん)



(2) アイマスク体験での気づき

アイマスクを付けると、何も見えない怖さがあった。聞こえてくる言葉と杖や手など判断するものが限られており、歩く方向の見極めが難しかった。(栗野美月さん)

(3) 学校生活でできることは何か

車椅子や松葉杖の人が進みやすいように、ぶつかりやすい物をどけること。足をけがして段差で躓かないように日頃から点検を行うこと。(飽田祐花さん)



(4) 地域の中でできることは何か

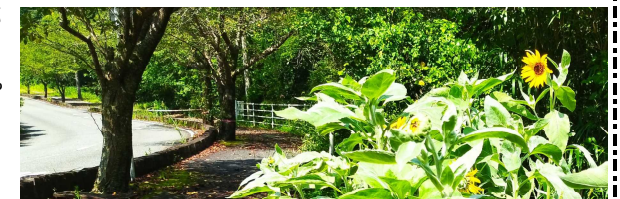
地域で困っている人がいたら、すぐにサポートすること。また、目の不自由な人が歩いておられたら、そばに付いて声をかけたり荷物を持ったりすること。(酒井愛玲菜さん)

稜南に咲いた2つのひまわり

この夏には稜南中に2つの「ひまわり」が咲きました。1つは、校舎内に咲いた手作りの「ひまわり」です。3年の若松優羽さんが作成してくれました。そして、もう1つは稜南坂の入口に、保護者や地域の方がボランティアで植

えてくださった「ひまわり」です。2つの「ひまわり」のおかげで、稜南中の雰囲気明るくなりました。

「ひまわり」の花言葉は、「憧れ」「情熱」などと言われています。今の小学生が「憧れ」をもつような稜南中になるよう、2学期も全校生徒が「情熱」もって勉強や運動に取り組んでいきましょう。



おやじの会による美化作業 ありがとうございました！

8月28日(日)に、「おやじの会」の皆さんによる美化作業が行われました。今回は亀場幼稚園方面からの登り坂の樹木の伐採と職員玄関や正門付近の植え込みの剪定をしていただきました。専門的な道具等も提供していただき、手際よく作業を進めてくださいました。本当にありがとうございました。

